

スマイルアスリート 鈴木 靖さん

オリンピック・パラリンピック
出場経験者よりスポーツへの情
熱と皆様への熱いメッセージを
お届けします。



「すずき やすし」さん
スピードスケード競技で1984年
サラエボオリンピック出場。

スマイル・サポーターズに感謝

私は、昨年まで冬季アジア札幌大会の組織委員会で勤務しており、その中で、アクレディテーションや宿泊、輸送業務で、スマイル・サポーターズの皆さんのご協力をいただき心より感謝しております。

サラエボへの想い

大会中は、各国の選手・役員と楽しく会話している姿を見て、私も大変嬉しく感じておりました。
スポーツ大会は、選手はもちろん、大会を運営する上で、皆さんの協力なしに開催することができないのです。
私は、大会運営に関わる全ての人々を一つの家族と想っております。今後とも様々なスポーツ大会と一緒に活動できるのを楽しみにしております。

私にとって、オリンピックとは、子供の頃からの夢でした。オリンピック出場には大きな壁があり、その壁を越えて出場できたのはサラエボ大会でした。
他のオリンピック選考では、自分の力が発揮できなかったり、選考で落とされたりと悲しい思いもたくさん経験しました。
初めてオリンピックの出場が決まったときは、嬉しさより「メダルを獲ってやる」という闘志に満ちた心境だったことを思い出します。
サラエボは当時、内戦勃発の危機の中であり、機銃を持った兵士が選手村を囲んでいるなど、とても平和の祭典が開催されている雰囲気ではありませんでした。大会は無事終了しましたが、その後には戦争が始まり、国名もボスニアヘルツェゴビナに変わりました。
その後の情報でスピードスケートの会場が戦死した人が眠る墓地になったことを聞き、心から寂しさと、一日も早く世界中の戦争が終わることを祈りました。
これからもスポーツが世界平和に繋がるよう活動していきたいと思えます。

国境を越えた友人に

世の中には、たくさんのボランティア活動がありますが、選手や観客から感謝されるスポーツボランティアは大会になくしてはならない大切な仕事だと思っております。
私も数多くの国際大会に出場した中で、思うような記録を出せなかった時など、ボランティアの皆さんから笑顔で話しかけていただき、沈んだ気持ちが楽になったことを思い出します。

その中でも思い出に残っているのは、ドイツの大会でボランティアの方と仲良くなり、その後のオリンピックにも国を越えて応援に来ていただいたり、現役引退後も度々手紙をやり取りするなど、私にとっても大切な友人になった方もおります。
純粋な気持ちで接していただくことが、時に選手や関係者に大きな感動を与える時もあります。これからも皆さんの活動に期待しています。

「人との出会い」が財産

私は今までスポーツに関わり、沢山の人々と出会うことができました。
自分にとって尊敬の対象とは、年齢、性別や役職などは全く関係なく、自分が持つていないものを持っている人と考えています。

これからもスポーツを通じ、沢山のひとと出会い、沢山の感動を経験したいと思えます。私の好きな言葉は「感動こそが人を動かす」です。

「クイズ」アスリートからの挑戦状

Q スケートにはスピードスケート、ショートトラック、フィギュアスケートの3種類ありますが一番スピードが出ているスピードスケート500mのスピードは何キロでしょう？ (回答はウラ面)

ウィンタースポーツ塾、大盛況のなか
みなさまのおかげで無事終えました！



大倉山会場



月寒会場



藤野会場

2018年1月16日～18日の3日間、3会場（藤野、月寒、大倉山）で、小学生対象のウィンタースポーツ体験イベント「ウィンタースポーツ塾」が行われました。のべ100人を超えるスマイル・サポーターズのみなさまによって無事イベントを終えることができました。みなさま、寒中、本当にありがとうございました。藤野会場では、スノーボード、リユージュ、月寒会場ではフィギアスケート、カーリング、大倉山ではスキージャンプ、クロスカントリーを体験でき、子ども達は本当に楽しそうに取り組んでいました。

また、ボランティアの方の感想として「子供たちの元気に、元気をもらいました！」などと、うれしいお言葉もいただきました。

今後、沢山のイベントがございますので、引き続き、よろしくお願いたします！

「オリンピック・パラリンピック魅力発信！ストリート」
チカホで絶賛開催中！

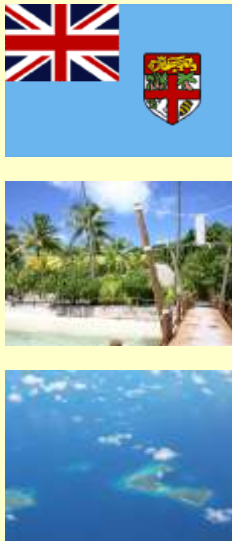
2月5日～2月25日まで、札幌駅前通地下歩行空間「北3条交差点」で平昌オリンピック・パラリンピックのPRイベントを絶賛開催中です！このイベントでは、平昌オリンピックのオリンピック・ビュイニングが見られるほか、道産子アスリート紹介パネル展、競技体験コーナーなど楽しい企画満載です。

ボランティアに協力して頂いた、たくさんの方のスマイル・サポーターズのみなさまが期間中活躍していますのでぜひ、イベントに遊びに来てください！

連載 Road to 2019



札幌ドームでキックオフシリーズ①



フィジーってどんな国？

2019年9月21日（土）、札幌ドームでオーストラリア×フィジー戦がキックオフ。でも、みなさんご存知でしょうか？フィジーってどんな国で、どんなチームなんだろうと想像できますか。札幌ドームで観戦する前にポイントをおさえておきましょう！

フィジーは、南太平洋に浮かぶ島国で、オーストラリアの東、ニューギニアの北側に位置し、首都スバヤや空港があるビチレブ島をはじめ、たくさん島が集まっています。

高温多湿な気候で平均気温は1年中25度前後で、紫外線はなんと日本の約7倍。きれいな海、多種多様な生物が暮らし、人とのつながりがあたたかいフィジーは2017年世界幸福度ランキングでも1位を獲得し、観光名所としても人気を集めています。

ラグビーフィジー代表は、「ナシヨナルチーム」で、愛称は「フライング・フィジアンズ」。2007年、第6回ラグビーワールド杯ではベスト8を記録しました。変幻自在なパス回しやランニングが特徴で、フィジアン・マジックと呼ばれることも。

2016年リオ五輪では、男子7人制ラグビーで金メダルを獲得した実力をもつフィジー。フィジーの戦いを見逃せません！

スマ・サポ インフォメーション

詳しい情報はSGSCのHPから！
<http://www.sapporosports.org/volunteers/>

★冬季のスマ・サポ活動予定★

- 札幌国際スキーマラソン 2月4日(日) (募集終了)
- 平昌オリ・パラPRイベント 2月5日(月)～2月25日(日) (募集終了)
- 高雄国際マラソン 2月25日(日)給水ボランティア(募集終了)
- 冬季パラスポーツ体験会 2月18日(日) (募集終了)
- アジア地域青少年アイスホッケーリーグ 3月3日(土)・4日(日) (募集予定)

募集詳細はHP上またはメールでお知らせいたします！

※少人数または急遽の場合のボランティア要請の場合、メール配信のみのご案内もありますので、ご了承ください。

寒さを
笑顔で
吹き飛ばそう！



クイズのこたえ:時速60キロメートル (一般道を走る車と同じくらいのスピードが出ています！)